

東都農地域資源マップ

作成：Aグループ3班



軍鶏

征矢原川沿いの道を探索していたところ、道路を歩く2羽の鳥に遭遇した。三枚冠で首が長く、筋肉質であったことから、軍鶏と思われる。軍鶏は、「日本の特有な畜産動物」として国の天然記念物に指定されている。実習範囲に養鶏場が多数点在していたため、放し飼いか、脱走してしまったのかは分からないが、実際に近づいてもあまり警戒されなかった。



菅原神社

急坂の途中に鳥居と祠のみの菅原神社があった。近隣住民の黒木登夢（くろぎつとむ）さんによると、長野開拓の際に近くの菅原神社から分祠したそう。少し南下した場所に分祠元と思われる菅原神社がある。そこは1865年以前に建てられており、鳥居、参道、拜殿・社殿が残っている。祠のうらには巣箱が置いてあった。近所の方によって置かれたものと思われる。

太陽光発電所

今回私たちが探索を行った長野開拓という土地には、背の高い建造物がない上に、宮崎県は全国的に見ても日照時間が県なため、たくさんの太陽光パネルが設置されている。ここで作り出された電気は、各工場や家庭に効率よく分配され、有効活用されている。また、今回の探索した東都農では、バイオマス発電にも力を入れており、資源循環型の社会や近年政府が推し進めている「カーボンニュートラル」の実現にも努めている。



アジサイ

この場所に限らず探索したエリアの道路沿いに紫陽花が多く見られた。生えていた場所から、人が植えた可能性が高い。日本の土壌は規範的に酸性なため、青色のアジサイが多い。5月後半から6月にかけて開花時期であり、気候的にも都農町はアジサイの生息に適しており、きれいに咲いていた。ちなみに有毒なため食べることはできない。



養鶏場

3班エリアにはいくつかの養鶏場があった。どの養鶏場の前にも「家畜伝染病予防のため農場内立ち入り禁止」という看板が立っており、農場関係者にインタビューすることは出来なかった。都農はブロイラー(肉用鶏)の飼育が盛んだが、道の駅都農に卵を卸している養鶏場もあるようだ。



キウイ果樹園

エリアのギリギリではあるが、坂の上から一面に広がるキウイ畑を眺めることができる。キウイはブドウなどと同じように、つるを支柱や棚に結びつけて育てられる。キウイにはビタミンCやビタミンE、食物繊維などが多く含まれており、美容にはもってこいの果物だ。もともと都農町はブドウを使った都農ワインが有名で、ほかにも梨や温州ミカンなども有名である。

学んだこと

東都農駅から出ると、一面に田んぼと山々が広がっており、何か収穫が得られるのか不安だったが、実際に足を運んで探索してみると太陽光発電やキウイの栽培など、地理的状况を生かした取り組みがあることを知れた。今はインターネット技術が発達し、分からないことがあれば何でもスマホで調べることができるが、やはりそれでは限界があるなと感じた。実際にその場所に足を運んで目で見て感じることでその地域の良さを知ることができるのだと今回の実習を通して感じた。